

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第40週の発生動向

トピックス

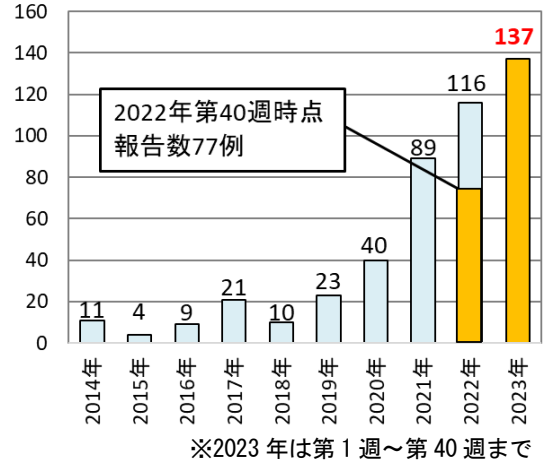
・**梅毒**(全数報告の感染症)の報告数が昨年と比べて大幅に増加している。診断週による累積報告数は137例と、1999年以降最も多くなった前年の第40週時点(77例)と比較すると約1.8倍の報告数となり、今後も増加が懸念される。

性別は男性が77例、女性が60例で、年齢群別では、20歳代が全体の約4割を占めている。また、保健所別では宮崎市(89例)、都城(27例)保健所からの報告が多くなっている。

【梅毒】2023年(第1週~第40週)年齢別報告数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
16	51	31	24	13	2

【梅毒】診断週による年別累計報告数の推移



全数報告の感染症(40週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 5 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	骨・関節結核	発熱、右大腿部の疼痛
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日南	60歳代	女	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、血便、鼻水、O26(VT1)
5類	梅毒	宮崎市	80歳代	男	—	髄膜炎
		宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、丘疹性梅毒疹
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	扁桃周囲膿瘍
		都城	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
	百日咳	日南	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、白血球数増多

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,615人(定点当たり33.9)で、前週比82%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び手足口病であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は308人(5.3)で、前週比57%と減少した。延岡(8.7)、高鍋(7.3)、高千穂(6.0)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

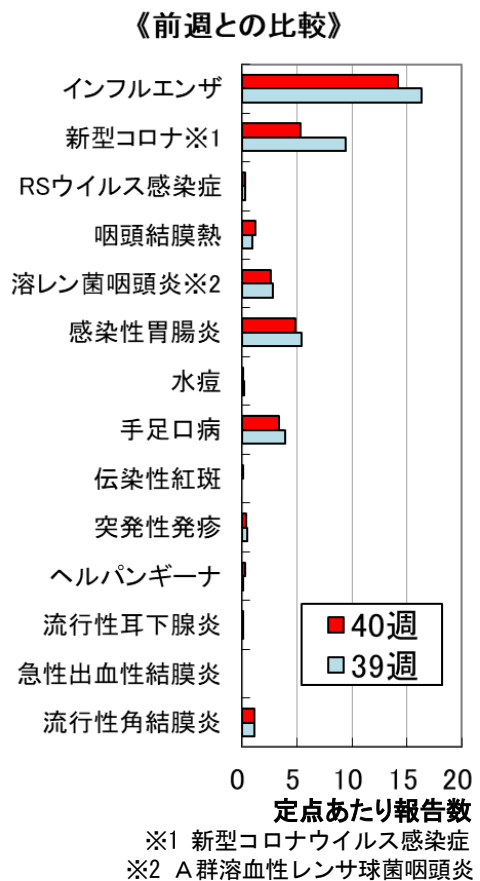
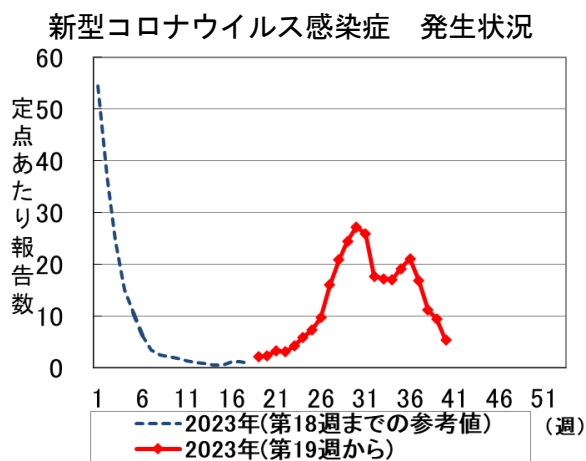
【インフルエンザ】

報告数は823人(14.2)で、前週比87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.21)の約67.8倍であった。日南(27.8)、延岡(22.9)、高鍋(21.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

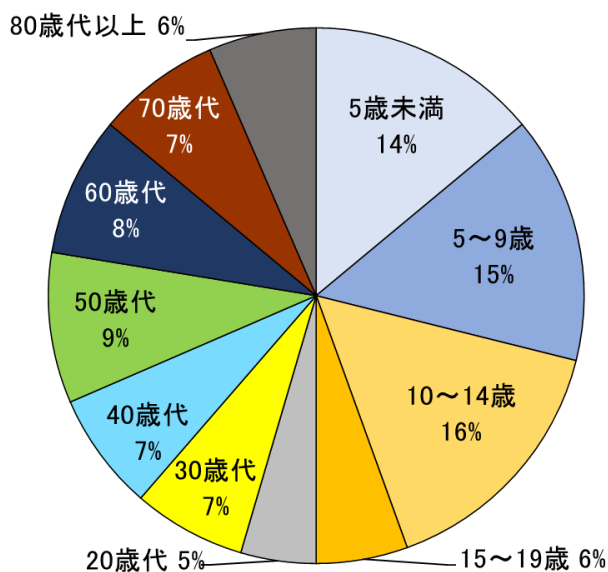
【咽頭結膜熱】

報告数は45人(1.3)で、前週比129%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.45)の約2.8倍であった。都城(3.2)、宮崎市(1.5)、小林(1.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から5歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

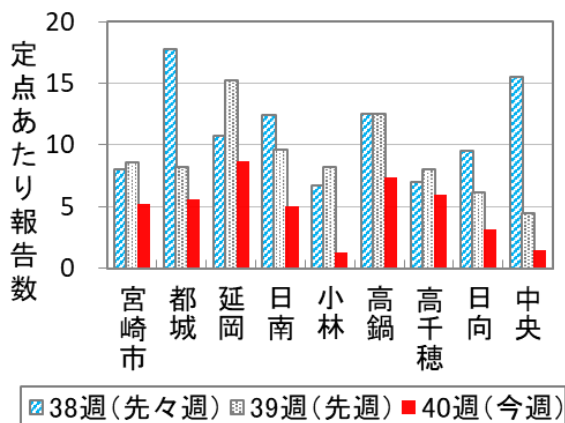


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第40週)

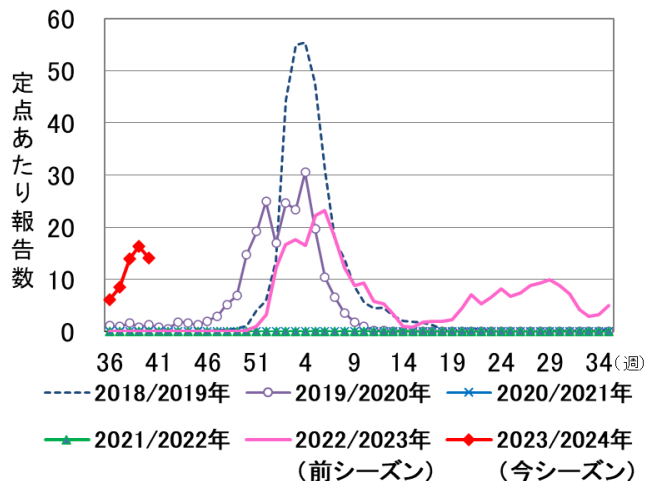


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

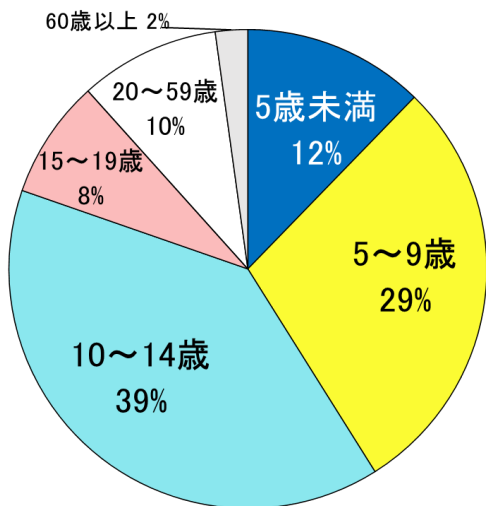
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



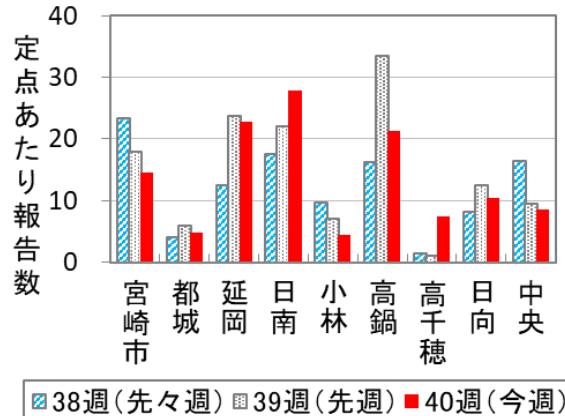
インフルエンザ 発生状況



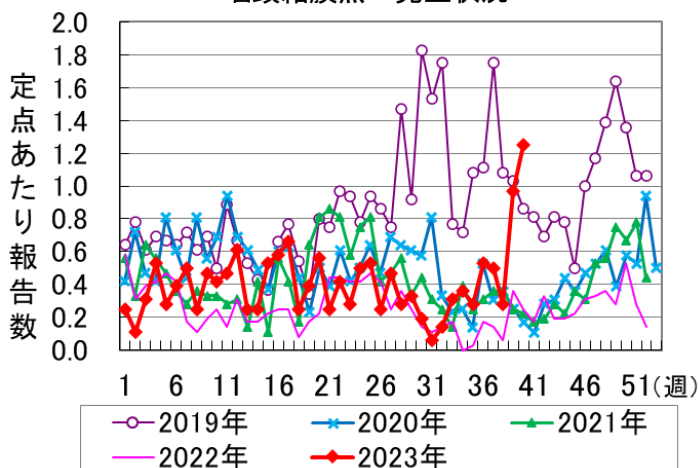
インフルエンザ年齢群別グラフ(第40週)



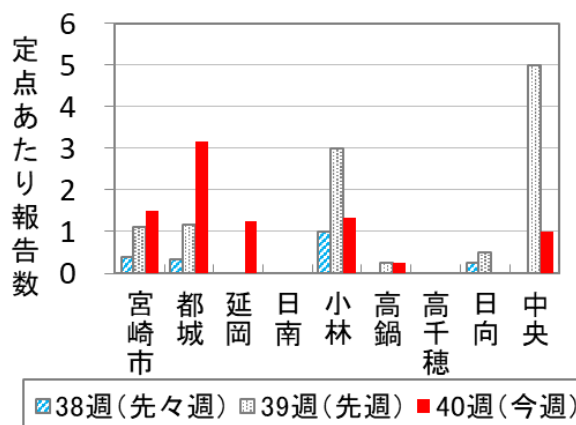
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(14.6)、手足口病(6.4)
都城	咽頭結膜熱(3.2)
延岡	インフルエンザ(22.9)
日南	インフルエンザ(27.8)
小林	なし
高鍋	インフルエンザ(21.3)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(10.5)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年10月9日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O126:HUT)	5～9歳	女	2023.09.04	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.09.20
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	男	2023.09.14	発熱(39.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.09.22
EPEC(O20:H6)	5～9歳	男	2023.09.14	発熱(39.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.09.28
<i>Salmonella</i> Alachua(O35:z4,z23:-)	5～9歳	男	2023.09.19	発熱(37.5℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2023.09.26

○5～9歳の女児から腸管凝集性大腸菌(EAggEC)が分離された。EAggECの判定基準は、凝集線毛の産生を制御する遺伝子である *aggR* 陽性で、ST/LT/VTを持たない大腸菌とされる。EAggEC感染症は、一般的に急性または14日以上持続性で粘液を含む下痢及び腹痛を主徴とし、発熱もある場合があるが、嘔吐は少ない。主として熱帯、亜熱帯地域で見られる小児の慢性下痢症の原因菌であり、日本でも散発・集団事例が見られるため、注意する必要がある。

★ウイルス

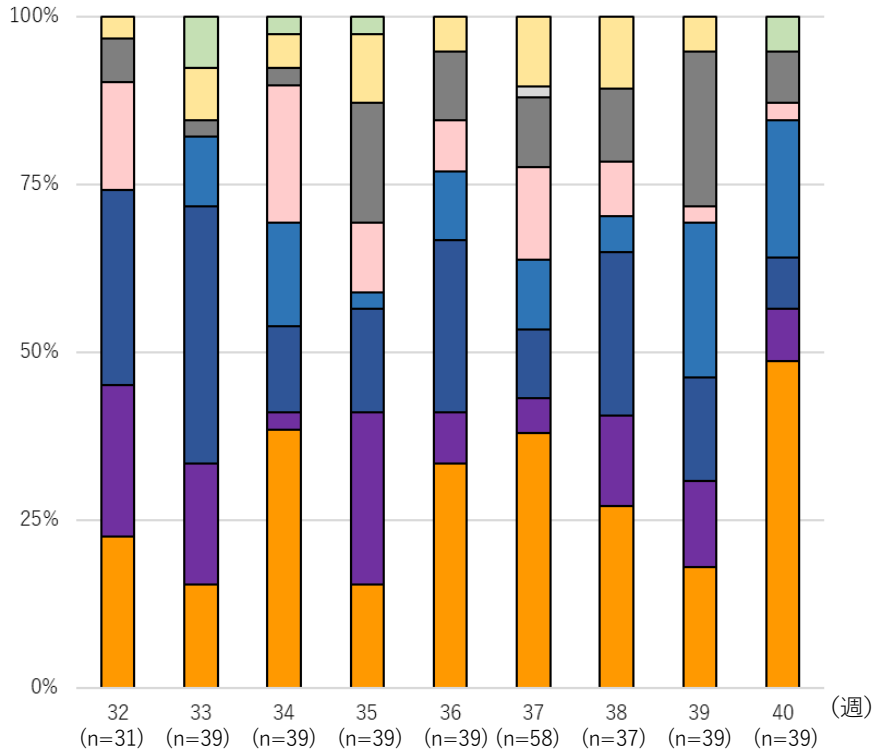
同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus AH1pdm09	10歳代	男	2023.09.06	A型インフルエンザ、38.3℃、咽頭痛、鼻水、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2023.10.05

○インフルエンザと診断された1名からインフルエンザウイルスAH1pdm09が分離された。2023/2024シーズンにおいて、当所で分離・検出されたインフルエンザの1例目である。2022/2023シーズンにおいては、AH3亜型が多く分離・検出されたが、前回の報告からAH1pdm09が分離・検出されており、今後の動向に注視が必要である。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.5系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.75系統



XBB 系統は第 40 週で約 95%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 49%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

✚ 全国 2023 年第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	238 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	90 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	1 例	エムボックス	1 例
	回帰熱	3 例	コクシジオイデス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	チクングニア熱	2 例	つつが虫病	2 例	デング熱	13 例
	日本紅斑熱	20 例	マラリア	2 例	ライム病	3 例
	レジオネラ症	65 例	レプトスピラ症	5 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	214 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	14 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症と伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 47,346 人(9.6)で前週比 135%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.24)の約 40.1 倍であった。沖縄県(25.9)、千葉県(19.6)、大分県(19.6)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 43,705 人(8.8)で前週比 80%と減少した。愛知県(12.4)、熊本県(11.3)、茨城県(10.7)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第40週(10月02日～10月08日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	946	823	234	49	160	139	18	128	15	63	17
	定点当り	16.31	14.19	14.63	4.90	22.86	27.80	4.50	21.33	7.50	10.50	8.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	545	308	83	56	61	25	5	44	12	19	3
	定点当り	9.40	5.31	5.19	5.60	8.71	5.00	1.25	7.33	6.00	3.17	1.50
RSウイルス感染症	報告数	12	10	2	1		1		3		3	
	定点当り	0.33	0.28	0.20	0.17	0.00	0.33	0.00	0.75	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	45	15	19	5		4	1			1
	定点当り	0.97	1.25	1.50	3.17	1.25	0.00	1.33	0.25	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	101	93	18	35	13	10		8		6	3
	定点当り	2.81	2.58	1.80	5.83	3.25	3.33	0.00	2.00	0.00	1.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	194	176	61	26	7	26	27	8		17	4
	定点当り	5.39	4.89	6.10	4.33	1.75	8.67	9.00	2.00	0.00	4.25	4.00
水痘	報告数	8	4	2		1		1				
	定点当り	0.22	0.11	0.20	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	141	121	64	13	14	3	11	10		2	4
	定点当り	3.92	3.36	6.40	2.17	3.50	1.00	3.67	2.50	0.00	0.50	4.00
伝染性紅斑	報告数		1				1					
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	14	5	2	2	1	1	2		1	
	定点当り	0.44	0.39	0.50	0.33	0.50	0.33	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	9	6		2					1	
	定点当り	0.14	0.25	0.60	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	4	1	1	2						
	定点当り	0.11	0.11	0.10	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	7	6	1							
	定点当り	1.17	1.17	2.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～40週保健所受理分)

2類感染症	結核	85例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例(1)	腸チフス	1例
	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
4類感染症	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	1例
	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例(1)	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	2例
			カルバベネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	141例(5)
			百日咳	5例(1)

()内は今週届出分、再掲